



龍造寺家及び家臣について調べるには



1. 所蔵図書で調べる

◆ 図書の一例 ◆

龍造寺家について

- 『戦国の肥前と龍造寺隆信』川副 義敦／著 宮帯出版社 2018
【請求記号:S289/R99 所蔵場所:郷土資料室】
龍造寺家のおこりから鍋島政権への移行まで。系図、戦陣図などを挿入し分かりやすく記述したもの。口絵やルビ、巻末の解題も参考となる。
- 『佐賀県近世史料 第8編 第3巻』佐賀県立図書館／編 佐賀県立図書館 2007
【請求記号:S200/SA15/8-3 所蔵場所:郷土資料室】
龍造寺隆信の漢文体年譜記録「^{たいがん}泰巖公御年譜」を収録。その他「石氏源流」「焼残反故」等龍造寺関係^{たいがん}を所収。※「^{たいがん}泰巖」は隆信の法名(法雲院殿^{ほううんいんどのたいがん}泰巖宗龍大居士^{そうりゅうだい こ じ})
- 『佐賀県史料集成 古文書編 第3巻』佐賀県史編纂委員会／編 佐賀県立図書 1958
【請求記号:S200/SA15/3 所蔵場所:郷土資料室】
「龍造寺家文書」を収録。文治2(1186)年～近世初期に至るまでの文書。『佐賀県史料集成』には「後藤家文書」(第6巻)、「多久家文書」(第8、9、10巻)等龍造寺家に関わりの深い資料群を多数収録。その他「河上神社文書」(第1巻)、「武雄神社文書」(第2巻)、「有浦家文書」(19巻)等、中世の文書を翻刻収録。
- 『肥陽軍記』原田 種真／著 勉誠社 1994 【請求記号:S204/H32 所蔵場所:新庫】
編年体(起こった出来事を年代順に記していく方法)。龍造寺家の由来にはじまり、龍造寺^{いえかね こうちゆう}家兼(剛忠)の話から隆信の事績までを記述したもの。
- 『北肥戦誌』馬渡 俊継／著 新潮社 1995
【請求記号:S204/SA96 所蔵場所:郷土資料室】
別名『九州治乱記』。編年体。佐賀藩士馬渡俊継が編さん。肥前国を中心にした九州全域の通史。巻末に「人名索引」および「城郭・陣所・居館・合戦索引」付き。
- 『佐賀県史編纂資料 69～72(藤竜家譜 1～4)』
【請求記号:S200.88/SA15 所蔵場所:新庫】
4 分冊(1 初代^{すえいえ}季家～七代^{いえたね}家種,2 八代^{いえまさ}家政～十六代^{たねみつ}胤栄,3 十七代^{たかのぶ}隆信,4 十八代^{まさいえ}政家)
- 『翻刻「永野御書キ物抜書」(『戦国の九州と武雄 後藤貴明・家信の時代』)]
武雄市図書館・歴史資料館 2010
【請求記号:S261/TA64 所蔵場所:郷土資料室】
龍造寺隆信宛文書を含み「龍造寺家文書」を補完するもの。武雄市所蔵。福岡市立博物館堀本一繁氏の解題と共に翻刻を掲載。

系図について

- 『肥前陶磁史考 附録 系図』 中島 浩気／著 肥前陶磁史考刊行会 1936
【請求記号:S751/N42 所蔵場所:新庫】
「龍造寺系図」は明治 29 年頃までを収録。原資料は劣化が著しいため複製物をご利用ください。利用御希望の場合はカウンターへお尋ねください。

- 『龍造寺家と鍋嶋直茂』 市丸 昭太郎／著 佐賀新聞社 2017
【請求記号:S204/I15 所蔵場所:郷土資料室】
「龍造寺家関係系図(鍋島文庫)」収録

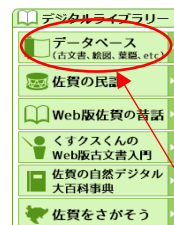
家臣について

- 『肥前鍋島家分限帳』^{ぶげんちよう} 高野 和人／編 新潮社 1994
【請求記号:S204/TA47 所蔵場所:郷土資料室】
「五ヶ國御領地之節配分帳」(龍造寺隆信幕下着到)^{ぼつかちやくとう}収録。索引あり。「龍造寺氏略系図」も収録。
- 『佐賀藩の総合研究』 藤野 保／編 吉川弘文館 1981
【請求記号:S200.4/F62 所蔵場所:郷土資料室】
龍造寺家臣団の構成について記載あり。「龍造寺氏(鍋島氏)系図」も収録。

2. 佐賀県立図書館ホームページで調べる <https://www.tosyo-saga.jp/>

○古文書・古記録・古典籍データベース <https://www.sagalibdb.jp/komonjo/>

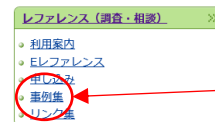
佐賀県重要文化財『龍造寺家文書』の画像をパブリックドメインとして公開しています。戦国大名龍造寺隆信を輩出した肥前の龍造寺氏に係る277点の文書群です。鎌倉時代から南北朝・室町・戦国時代にいたる中世文書が大部分を占め、国内現存最古とされる観応2(1351)年書写の刀剣書(銘尽)も含まれます。



○レファレンス事例集

<https://www2.tosyo-saga.jp/kentosyo2/reference/search.do?lang=ja/>

これまでに佐賀県立図書館で実際に受けたレファレンス(調査相談)の事例集です。事例キーワード「龍造寺」等で検索すると過去の事例を見ることができます。



郷土資料室の資料(郷土資料)のご利用について

◇開室時間◇

午前 9 時から午後 8 時まで

(資料調査室(鍋島家文庫の複製本があります)とマイクロフィルムの
利用は午後 5 時まで(受付は午後 4 時 30 分まで))

- ・郷土資料(請求記号の頭に S または「鍋」「蓮」などの漢字が付く資料)は、貸出を行っていません。(一部の資料は貸出可の複製本があります)
- ・郷土資料は、郷土資料室内でご覧ください。
- ・資料保存のため、複写・閲覧できない資料があります。